年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年４月１５日
● 事　業　名　：小さなものづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で、社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人まちぽっと
● 実 行 団 体　：一般社団法人栃木県若年者支援機構
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①-1　いままでどこにも相談できなかった当事者が、SNS を通して相談できるようになることで、社会的資源につながる当事者が増える。	・相談件数	100 件/3 年	2023 年 3 月末	202 件/2 年	1
①-2　SNS 相談のノウハウを蓄積し、それを開示することで、他のひきこもり支援事業者が SNS 相談を開始することができるようになり、全国の相談事業が活性化する。	・事業実施元に問い合わせあり、その後 SNS 相談を開始した事業所の数	5 件/3 年	2023 年 3 月末	0 件/2 年	3

②-1　ひきこもり等当事者が学びなおしの場を得て高認等の資格を取得することにより、自信をもって就職活動に臨めるようになる。	・学びなおしの場への参加者数 ・資格取得者数 ・参加者の内的･外的状態変化 （新しい行動を開始する）	・64 人/年 ・25 人/年 ・資格取得者の 20%が次の支援もしくは就職につながる	2023 年 3 月末	55 人/年 12 人/年	3
②-2　地域の企業とひきこもり当事者をマッチングさせることにより、地域の人材不足が解消されるようになる。	・参加企業数 ・就職者数	・15 社 ・10 人	2023 年 3 月末	0 社 0 人 （2022 年度計画）	4
②-3　ひきこもり等当事者が中間的就労の場に定期的に通うことにより、自分や社会に対する不安が緩和され、自信を取り戻すことができるようになる。	・参加者の内的･外的状態変化 （新しい行動を開始する）	・100 人中 30 人（30%）に状態変化が見られる	2023 年 3 月末	2020 年 4 月以降参加した登録生 37 名のうち、11 名が就職もしくは福祉就労、自作の販売を体験した。1 名が高認を取得した。(32%に行動変化)	1
②-4　ひきこもり等当事者が、ものつくりを学び、自分の作品を販売することで、収入を得ることができるようになる。	・参加者数 ・販売金額	・30 人/3 年 ・50 万円/3 年	2023 年 3 月末	3 名/2 年 21920 円/2 年	3

③　地域社会がひきこもりや不登校についてより深く知り、それが個人だけの問題ではなく、個人と社会双方の問題であるとの理解が進むようになる。	・活動報告書に添付するアンケート	・1 回目と 3 回目に状態変化が見られる （理解が深まっている）	2023 年 3 月末	2023 年 1 月にアンケートを実施予定	4
④　COVID-19 感染拡大の影響により困難となった事業活動をオンライン化し、新たな作業のあり方、仕事の獲得のしくみをつくる。	新たな作業方法等の実施の可否、新たな仕事の獲得方法の可否	新たな作業方法等の実施、新たな仕事の獲得方法の実施	2021 年 3 月	動画を見て作業を学び、納品する仕組みを構築した。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告
今年度は前年度からの繰り越し予算を活用して、人員とプログラムを増やした。それもあって、自己資金（売上）が計画よりも多く集められたことは成果の一つと考えている。 また、オンライン作業指導や内職の配送を活用して自宅から参加している登録生が 4 名おり、それぞれ作品の質も上がってきている。 LINE 相談は、2022 年 3 月末現在登録者４０人。のべ相談件数 157 件。ストリーミング配信（Spoon）から LINE 相談を経て地域の支援につながったケースも出てきている。 課題として、 ①　活動の周知がまだ不足している（固定の相談機関からのリファーに偏っている状況） ②　作品の販売ルートが未開拓のまま の二点があげられる。特に②については昨年度から続いている課題であり、仕組みの構築が急務である。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・参加者の体調確認。自己判断の目安を伝え、無理のない参加を促した。 ・消毒と換気を徹底し、人数制限を設けて密にならないように工夫した。 ・オンラインや SNS、動画を使った作業指導を積極的に取り入れ、家にいながら作業に参加できる仕組みを構築した。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☑その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：SNS（Facebook）で告知している

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 今年度は特になし 2.広報制作物等 「てしごとや通信」月一回発行（別紙添付） 3.　報告書等 今年度は特になし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 今年度は特になし

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 変更はしていない

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
	☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.	内部通報制度は整備されていますか。
	☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.	利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
	☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.	関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
	☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.	コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
	☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.	報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
	☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）
別途添付